

# 茨城の 土地改良

発行所  
茨城県土地改良事業団体連合会  
水戸市宮内町3193-3  
電話 029-225-5651(代)  
FAX 029-225-5239

編集兼発行人  
葉 梨 衛



茨城県立歴史館

## 目 次

令和7年度(国)農業農村整備事業関係予算概算要求の概要	2
いばらき自民党県政要望懇談会に参加	2
農業農村整備の集いに参加	3
令和5年度決算監査及び令和6年度第2回監事会を開催	4
令和6年度第2回理事会を開催	4
農業基盤整備資金の金利改定	4
茨城県立水戸農業高等学校での測量実習を開催	5
管理運営体制強化委員会・受益農地管理強化委員会を開催	5
いばらき水土里ネット女性の会 令和6年度総会・第1回研修会(事務研修)を開催	6
いばらき水土里ネット女性の会 令和6年度第2回研修会(現地研修)を開催	7
関東一都九県水土里ネット女性理事意見交換会に参加	8
茨城県農業集落排水事業連絡協議会第34回通常総会を開催	8
所有者不明土地管理制度・財産管理制度に関する研修会を開催	9
農業水利施設の保全管理の在り方シンポジウムに参加	9
土地改良施設の盗難にご注意	10

## 令和7年度(国)農業農村整備事業関係予算 概算要求の概要

去る8月30日(金)、農林水産省は、令和7年度農業農村整備事業関係予算の概算要求を発表した。また、農業農村整備事業関係予算は、対前年度比118.8%の5,301億円となっている。

### 令和7年度(国)農業農村整備事業関係予算 概算要求の概要

(単位：億円)

事 項	令和6年度 当初予算額	令和7年度 概算要求額
農業農村整備事業〈公共〉	3,326	3,952 (118.8%)
農業農村整備関連事業〈非公共〉 (農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業 農山漁村振興交付金)	548	658 (120.1%)
農山漁村地域整備交付金〈公共〉 (農業農村整備分)	588	691 (117.5%)
合 計	4,463	5,301 (118.8%)

(注) 1. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。  
2. 下段( )書きは令和6年度当初予算額との比率である。

## いばらき自民党県政要望懇談会に参加

去る8月26日(月)、水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、いばらき自民党政務調査会「営業戦略農林水産部会」の県政要望懇談会が開催され、本会から金専務理事、樋口事務局長が参加した。

はじめに上月良祐参議院議員より「この場でお互いの立ち位置、課題感を共有して頂き、国・県・市町村、そして各団体が協力しながら一つ一つの問題を解決していけるよう私も努めたいと思います。」と挨拶があった。

その後、各団体の要望事項の聞き取りが行われた。本会が行った要望は下記のとおり。



本会の説明(金専務)

#### ◇土地改良区の運営に対する支援について【継続】

◎特に施設に係る電気料金高騰に対する支援

#### ◇農村地域の防災・減災対策に対する市町村の支援について【新規】

◎農地及び農業水利施設が有する防災・減災機能等の市町村への周知

#### ◇農業農村整備事業の計画的・安定的な推進のための予算確保【継続】

◎土地改良施設維持管理適正化事業

◎多面的機能支払交付金



# 農業農村整備の集いに参加



去る6月10日(月)、東京都千代田区平河町のシェーンバッハ・サポーにおいて、全国土地改良事業団体連合会主催の「農業農村整備の集い」が多数の国会議員を含む1,200名を超える土地改良関係者が全国から参集して開催された。

開会にあたって、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長から「皆さんの強力な要請活動や、宮崎雅夫さん、進藤金日子さんの2枚看板の活躍により、予算は6,000億円を超える額まで伸びている。土地改良区の女性理事も、この2年半の取り組みに

より2.5倍に増え、また、県土連の女性理事に至っては5倍になった。皆さんが本気で取り組んでくれた成果であるが、「土地改良は変わったんだ。」と言われるよう、目標達成に向け取り組んで頂くようお願いする。」と挨拶があった。

次に、来賓の鈴木憲和農林水産副大臣をはじめ、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問、滝波宏文参議院農林水産委員長、細田健一自民党農林部会長から祝辞が述べられた。

続いて、来年度全国土地改良大会開催県の水土里ネット佐賀の高田俊行専務理事が、要請書の案文を朗読し、全会一致で採択された。

また、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問から農業農村を巡る情勢報告があった。

閉会后、本県においては、本県選出国会議員への要請活動を実施し、農業農村整備の集いで決議された要請文により要請活動を実施した。

(以上、役職等は令和6年6月10日現在)

## 要請書(抜粋)

全国の水土里ネットは、培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、一致団結して、次の事項の実現を図ることを国に要請する。

記

- 一 土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 食料・農業・農村基本法の見直しを踏まえ、土地改良法や関連する支援制度の充実を図ること。
  - (一) 保全管理の明確化など土地改良法の目的・原則の拡充
  - (二) 施設の老朽化や突発事故の増加等が進む中で、国等の発意で行う事業の拡充などを含め、施設の更新整備を円滑に行うための環境整備
  - (三) 土地改良区の運営基盤の強化や、地域における農業水利施設の適切な保全管理に向け、土地改良区と市町村をはじめとした関係機関の連携等を促進する仕組みの創設
  - (四) 防災・減災対策や被災後の改良復旧を促進するための拡充
  - (五) スマート農業や需要に応じた生産に対応した基盤整備を推進する観点から情報通信基盤整備の位置付けの明確化やきめ細やかな営農ニーズに対応できる拡充
  - (六) 多面的機能支払や中山間地域等直接支払について、土地改良区等の多様な組織の参画を促進しつつ取組を強化するための拡充等
- 三 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促す農地整備を推進すること。
- 四 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。あわせて、農村地域の国土強靱化のため、基幹から末端に至るまでの農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を推進すること。
- 五 自然的、社会的、経済的な情勢変化を踏まえ、高い公共性・公益性を有する土地改良施設の維持管理に対する支援を充実させること。
- 六 ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進するとともに、中小規模の土地改良区を対象とした合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 七 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるように配慮すること。

全国土地改良事業団体連合会  
都道府県土地改良事業団体連合会

令和六年六月十日

## 令和5年度決算監査及び令和6年度第2回監事会を開催

去る6月25日(火)、水戸市「茨城県土地改良事業団体連合会会議室」において、雨谷総括監事及び岡田監事、鈴木監事の3名の出席のもと、本会の令和5年度決算監査及び令和6年度第2回監事会を開催した。

なお、監査は下記のとおり行われた。

### 【監査事項】

1. 令和5年度事務事業の執行について
2. 令和5年度会計収支決算状況について
3. 令和5年度財産目録の状況について
4. 特定個人情報・個人情報の管理について

監査では、雨谷総括監事から「令和5年度の『業務及び会計経理状況』、及び『個人情報保護に関する規程の安全管理措置の監査』並びに『特定個人情報取扱に関する監査』を併せて執行しましたところ、その状況については良好と認められました。土地改良事業推進のため、また、我々会員への指導・支援のために、職員一丸となって、なお一層の努力をお願いします。」との監査結果報告があった。



監査の様子

## 令和6年度第2回理事会を開催

去る7月4日(木)、水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、本会の令和6年度第2回理事会を理事17名の出席を得て開催した。

葉梨会長の挨拶に続き、来賓挨拶として茨城県を代表して渡辺農地局長より挨拶があった。

そして葉梨会長を議長として議事に入り、金専務理事による業務報告の説明のあと、第1号議案「令和5年度事業報告、会計収入支出決算、貸借対照表及び財産目録の承認について」について上程され、全会一致で可決承認された。



理事会の様子

## 農業基盤整備資金の金利改定

(株)日本政策金融公庫(旧農林漁業金融公庫)が貸し出す農業基盤整備資金の貸付金利が、令和6年10月21日以降下記のとおり改定された。

記

(単位：%)

区 分	利率一覧(令和6年10月21日現在)				
	融資期間にかかわらず	融資機関別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	1.35	-	-	-	-
団体営補助残	1.20	-	-	-	-
非補助一般	1.20	-	-	-	-
非補助利子軽減	1.20	-	-	-	-
災害復旧	-	0.60	0.75	1.05	1.20



## 茨城県立水戸農業高等学校での測量実習を開催

去る6月6日(木)、茨城県立水戸農業高等学校において、農林水産省関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所主催の測量実習が実施された。

当日は、同校農業土木科3年の31名を対象に、本会職員(測量室技師7名)が講師として協力のもと行われた。

はじめに、本会農業農村整備課小池忠則測量室長を講師とし、GNSS測量について座学を実施した。

その後は、技師7名の指導のもと、最新の測量機器(GNSS測量システム、トータルステーション)を用いた体験が行われ、生徒に機器の操作方法を伝授した。



トータルステーション体験



GNSS体験

実習に参加した生徒からは、「学校の測量機器より操作が簡単で正確に測れた」、「最新機器に触れていい経験になった」など、様々な感想が挙がった。

本実習は、昨年度に引き続き今回で2回目の開催となる。最新の測量機器に触れ、実際に体験することで、生徒の測量に関する前向きなイメージや、関心が深まる良い機会となった。

## 管理運営体制強化委員会・受益農地管理強化委員会を開催

去る7月12日(金)、茨城県土地改良事業団体連合会会議室において、国・県・各管内土地改良区・県土連より下記の強化委員を招き、管理運営体制強化委員会及び受益農地管理強化委員会を同日開催した。

金専務理事による挨拶の後、各委員会にて令和5年度事業報告・収支決算及び令和6年度事業計画・収支予算について協議し、全て原案通り可決された。



会議の様子

### (各強化委員)

- |                     |       |       |               |
|---------------------|-------|-------|---------------|
| ・ 関東農政局農村振興部土地改良管理課 | 課長    | 加藤 輝雄 | (管理・受益)       |
| ・ 関東農政局土地改良技術事務所    | 所長    | 山村 研吾 | (管理)          |
| ・ 水戸地方法務局不動産登記部門    | 首席登記官 | 箕浦 裕幸 | (受益)          |
| ・ 茨城県農林水産部農地局農村計画課  | 課長    | 井坂 誠博 | (管理)          |
| ・ 茨城県農林水産部農地局農地整備課  | 課長    | 倉持 明彦 | (管理・受益)       |
| ・ ひぬま川土地改良区         | 理事長   | 田口 一彦 | (管理・受益)       |
| ・ 高田土地改良区           | 理事長   | 篠崎 惣壽 | (管理・受益) ※当日欠席 |
| ・ 茨城南総土地改良区         | 理事長   | 鈴木 功  | (管理・受益) ※当日欠席 |
| ・ 土地改良換地士           |       | 中川 照夫 | (受益)          |
| ・ 茨城県土地改良事業団体連合会    | 専務理事  | 金 徹   | (管理・受益)       |
| ・ 茨城県土地改良事業団体連合会    | 事務局長  | 樋口 雅也 | (管理・受益)       |

## いばらき水土里ネット女性の会 令和6年度総会・第1回研修会(事務研修)を開催

去る5月10日(金)、茨城県水戸生涯学習センター大講座室において、「いばらき水土里ネット女性の会」令和6年度総会及び第1回研修会を開催した。

女性の会会員68名のうち、41名が参加し、和やかな雰囲気の中での開会となった。

はじめに、岸紀子会長・金専務理事の挨拶の後、全国水土里ネット会長会議顧問・参議院議員宮崎雅夫氏のビデオメッセージが披露された。

その後、議事に入り、すべて原案どおり可決された。

また、任期満了に伴う役員改選において、下記の新役員が選出された。

総会後の研修会では、なごみ社労士事務所の石井光一氏を講師に招き、「ハラスメント研修会」を行った。

はじめに自らの行動を振り返るセルフチェックを行い、様々な事例におけるセーフライン・アウトラインについて解説を交えながら理解を深めた。

その後は4グループに分かれ、様々な場面におけるハラスメントの対応策をグループ毎に話し合った。

研修会に参加した会員からは「ハラスメントについて正しい知識を知れる良い機会となった。」

「実際の体験談に基づいての話で分かりやすかった。」などの意見が多く寄せられた。

それぞれがハラスメントに関する正しい認識を持つことで、誰もが働きやすい環境づくりの第一歩となる有意義な研修会となった。



総会の様子



石井光一氏



研修会(グループワーク)

### いばらき水土里ネット女性の会 役員一覧

(総会選任時)

任期：令和6年度・令和7年度 ※敬称略

役職	所属	氏名
会長	岩崎江塚土地改良区	吉成純子
副会長	南筑波土地改良区	大塚幸子
副会長	村田村外三ヶ村土地改良区	木下尚子
幹事	里川堰土地改良区	大内祐子
幹事	大洗町土地改良区	横須賀さおり
幹事	播田実地区土地改良区	田谷和永
幹事	北浦土地改良区	木上みどり
幹事	麻生西部2期土地改良区	高野喜代美
幹事	福岡堰土地改良区	森田真依
幹事	新利根川土地改良区	山来今日子
幹事	牛久沼土地改良区	出津和世
幹事	河間土地改良区	稲見恵美子
幹事	鶴戸沼土地改良区	古谷真弓
幹事	菅生沼土地改良区	中澤まり子
幹事	茨城県土地改良事業団体連合会	町島彩美

### お知らせ

「いばらき水土里ネット女性の会」では、**随時、会員を募集しております。**

女性ネットワークを広げ、情報の共有や連携の強化を図り、働きやすい環境作りを進めることを目的としています。

**令和6年10月現在で、会員数73名となっております。**

(問い合わせ先)

\*E-mail：honsyo01@ibarakidoren.or.jp

\*TEL：029-225-5651

\*FAX：029-225-5239

\*HP：https://www.ibarakidoren.or.jp

茨城県土地改良事業団体連合会本所総務経理課  
町島・小野



## いばらき水土里ネット女性の会 令和6年度第2回研修会(現地研修)を開催



那珂川沿岸農業水利事業所  
大室企画官による説明

去る9月12日(木)、「いばらき水土里ネット女性の会」第2回研修会を開催した。

設立後初めての現地研修となったが、当日は女性の会会員73名のうち、36名の多くの会員が参加した。

はじめに、常陸大宮市の御前山ダムにおいて、関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所の講師



(左から)県北農林事務所  
田中課長・高場係長

4名より、「那珂川沿岸地区の事業概要」について説明を受けた。

その後、ダム監査廊へ移動し、普段立ち入ることのできないダム内部や、傾斜45度・200段の階段を見学し、ダムの役割や管理の大変さを実感した。

その後は、道の駅常陸大宮かわプラザ会議室に移動し、茨城県県北農林事務所の田中事業調整課長、高場係長を講師に招き、那珂市瓜連地区基盤整備事業の事例について説明

を受けた。会員からは、「他改良区の事業について知る貴重な機会となった。」との感想が挙がった。

朝早くからの研修となったが、参加者同士の交流も図れ、終始和気あいあいとした雰囲気を実施することができた。

今後も、会員相互のネットワークを広げ、さらなる活躍を促進するための活動を続けていきたい。



ダム内部①



ダム内部②



県北農林事務所による説明



御前山ダムにて



## 関東一都九県水土里ネット女性理事意見交換会に参加

令和6年8月22日～23日、関東一都九県水土里ネット女性理事意見交換会が、関東一都九県の当番県である栃木県で開催された。意見交換会には102名、現地研修には71名が参加し、2日間で各県との交流を深めることができた。

本県からの女性理事は、調整が難しく参加できなかったが、「いばらき水土里ネット女性の会」より吉成会長、木下副会長が参加し、土地改良区の事務局長の立場から、食料安全保障の強化のために土地改良団体に必要なことについて意見を交わした。

2日目の現地研修では、那須野ヶ原土地改良区連合において、到着直後に参加者が一輪ずつ花を生けることで一体感を得られ、星野専務理事から熱い講話を聴くことができた。

『とちぎ!!絆がり隊』が合い言葉の、「とちぎ水土里ネット女性の会」から、記念品の「おもてなし、も有り、大変有意義な2日間となった。



意見交換会の様子



(左から) 発言する吉成会長・木下副会長



那須野ヶ原土地改良区連合にて (現地研修)

## 茨城県農業集落排水事業連絡協議会第34回通常総会を開催

去る8月30日(金)水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、茨城県農業集落排水事業連絡協議会第34回通常総会を22の会員市町村の出席を得て開催した。

開会にあたって、茨城県農業集落排水事業連絡協議会の会長である那珂市長の先崎光会長より挨拶があった。

そして先崎会長を議長として議事に入り、第1号議案「令和5年度事業報告の承認について」から第6号議案「補欠役員の選任について」について上程され、全会一致で可決承認された。なお、連合会管内の補欠役員として、茨城県土地改良事業団体連合会専務理事の金徹が選任された。



先崎光会長による開会挨拶



## 所有者不明土地管理制度・財産管理制度に関する研修会を開催



研修の様子

水戸市「茨城県土地改良事業団体連合会会議室」において、所有者不明土地管理制度・財産管理制度に関する研修会を開催した。

本研修は、土地改良区からの所有者不明土地管理制度・財産管理制度に関する相談・指導に対応すべき職員を育成する目的で開催され、同制度に精通している本会県北事業所換地課の監物淳二参与・調査指導監が講師を務めた。対象は本会職員とし、下記日程において各部署より合計46名が参加した。

研修は2部制により開催され、第1回目の「知識編」では、所有者不明土地管理制度等活用の概要について、第2回目の「実務編」は、実際の事例を交えた詳細な解説があり、受講した職員は真剣な表情で研修に臨んでいた。

2日間にわたる、非常に有意義な研修会であった。

区分	実施日	参加人数
第1回目（知識編）	7月17日（水）	29名
	7月24日（水）	17名
第2回目（実務編）	8月19日（月）	18名
	8月20日（火）	28名

## 農業水利施設の保安全管理の在り方シンポジウムに参加

去る9月25日（木）、東京都千代田区平河町「シェーンバッハサボー」において、農業水利施設の保安全管理の在り方シンポジウムが開催され、本会から10名の役員が参加した。

はじめに、「農業水利施設等の保安全管理の在り方検討会」の中間取りまとめについて、農林水産省農村振興局土地改良企画課福島央課長、水土里ネット長野所弘志常務理事（在り方検討会座長）より報告があった。

続いて、農業水利施設の保安全管理に関する先進的な取組事例について5名の講師より発表があった。

どの事例も、統合整備、AI・ICTの活用等、時代に合わせた取り組みを実施しており、様々な観点から農業水利施設の保安全管理が行われていることを学ぶことができた。

その後のトークイベントでは、特別ゲストとしてギャル曾根氏が参加し、農業水利施設の適切な保安全管理の必要性について意見交換を行った。

今回のシンポジウムを通し、私たちの食卓を支える農業水利施設の保安全管理の重要性について理解を深められた。農業水利施設が果たしている役割等について、より多くの国民にもっと知ってもらえるよう、しっかり伝えていかなければならないと改めて実感した。



会場の様子



トークイベント

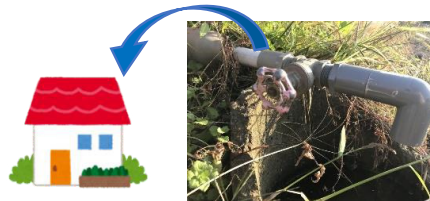
# 金属製バルブ 土地改良施設 **が狙われているかも？！**

## 盗難に注意！！

茨城県内では、令和5年度に**49件**、被害総額**2,137万円**の盗難被害が発生しており、盗難件数・被害総額ともに年々増加しています。

### 効果的な対策

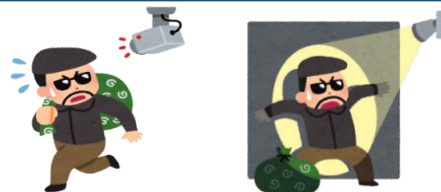
非かんがい期は  
**給水用蛇口を外して自宅保管**



**プラスチック製の蛇口**を導入



**防犯カメラ**や**ライト**の導入



「**防犯カメラ作動中**」、「**盗難対策実施中**」  
の**看板**や**ステッカー**等を設置



- ・盗難が発生した場合は警察に被害届を提出し、土地改良区等に報告しましょう。
- ・土地改良区等は県へ報告するとともに、組合員等への注意喚起をお願いします。
- ・万が一に備えて、保険の加入を検討しましょう。